

世界で唯一の組立式**天然ゴム製**ランフラット 注油システムを備え、特殊な道具を必要としない 簡易な取り付け方法

天然ゴム製のランフラットだけがビードロックを保証。
オフロード走行が可能になり、縁石に衝突した時の衝撃も緩和し、
パンク時のタイヤへのダメージを減らす。
タイヤ交換時に特殊な道具は必要なし。

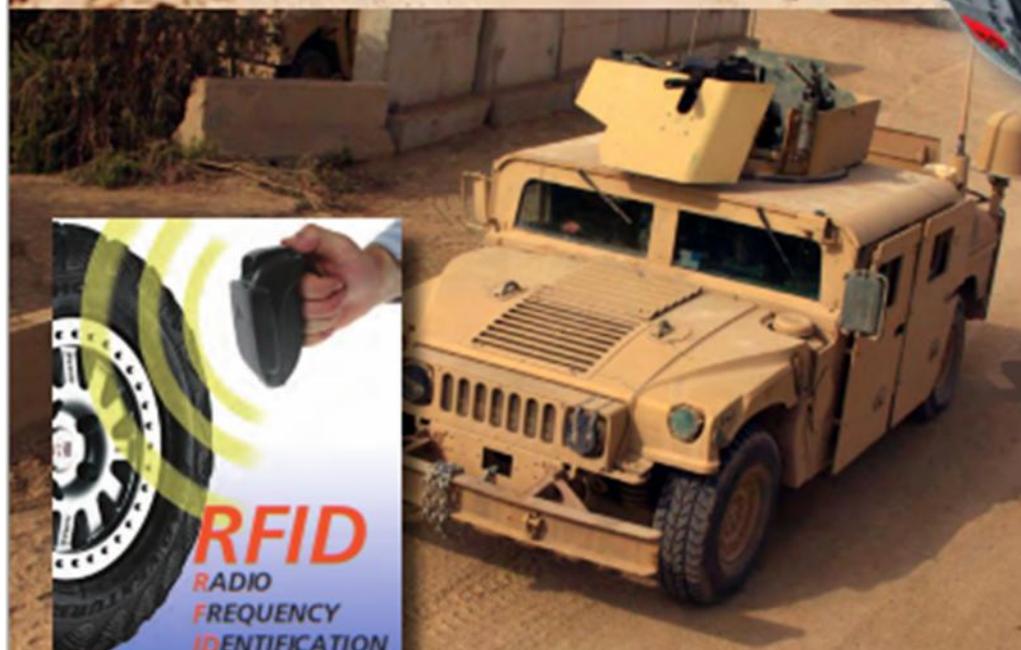
イギリスで発明された Tyron ATR が 全てのトラブルを解決



New

**フリクション
・シールド
注油システム**

パンク時の走行で発生する摩擦熱を減少させる



フリクション・シールドの特長

- 乾燥させないように密閉された潤滑油。パンク時の性能を向上
- ランフラットに取り付けられているので、取り付けを忘れる心配がない
- 均一に取り付けられているので、タイヤのバランスに問題なし
- 必要な時だけ使用するので、面倒なことがない



RFID システム（無線認識システム）は、Tyronのランフラットタイヤ全てに装着可能

TYRON

Flat Tyre Protection

www.tyron.com

Finabel 基準では、タイヤを 2 本パンクさせた状態で 50km 走行を要求されるが、Tyron は 4 本全てをパンクさせた状態でその基準をクリア

全地形対応ランフラット (ATR)

防弾・組立式・天然ゴム製・全地形対応の世界初となるランフラット・システム。ユニークで柔軟性のある特性により、距離と耐久性において、他のどの製品より優れている

顧客のニーズに合わせた、ユニークな特長を持ったランフラット製品



ローラー式模擬道路に Tyron ATR を設置し、試験を実施



負荷と速度の試験を Tyron ATR に行う



荷重によるゆがみの特性を測定

「Tyron ATR だけが一定の性能基準を超えた…しかもタイヤ 4 本全てパンクした状態で！」

性能試験

1. ユーザー評価 (UA) の目的は、Tyron ATR の性能・技術と操作上の特性・仕様・耐久性・走行距離に関する評価をまずユーザーにもらい、ハッチンソン社が提供しているランフラットと比較を行うことであった。ランフラットは Tyron 製。米国特殊部隊陸上機動車を使用し、ユーザー評価を実施した。ケンタッキー州フォートキャンベルにて、第 5 特殊部隊グループ A・部隊近代化部門の下士官長が実施。

2. 製品説明

名称: Tyron ATR

取り付け: 内部組立式部品。野外取り付けが可能。

素材: 鉄の骨組みと天然ゴム製ランフラット

荷重範囲: ランク D、E。ハンヴィーに対応 (高荷重仕様)

特長: 耐久性、長距離ランフラット走行が可能

3. ユーザー評価実施条件: 2009 年 6 月、陸上機動隊の下士官が、ユーザー評価を実施。4 つのタイヤが同時にパンクするという模擬実験を行う。ホイールからバルブを抜き、タイヤの空気を抜いた。Tyron が提供したのは、グッドイヤー社 Wrangler MT/R の 16.5 インチ・タイヤ 4 本、Tyron ATR ランフラット 4 本 (事前に装着)、ヘイズレメルツ社 陸上機動車用ホイール 4 本。合計 30 マイル走行させた。舗装された道路・未舗装の道路・小道・オフロード等。走行距離の

80%は、舗装された道路であった。走行速度は 0~60mph (0~96km/時)。大部分は、25~30 mph (40~48km/時) で走行し、10mph (16km/時) ずつ 60mph (96km/時) まで速度を上げた。ケンタッキー州キャンベルの様々な地形のオフロードでの速度は 0~30 mph (0~48km/時)。最後に、タイヤを車両から取り外し、タイヤとランフラットを分解した。

4. 考察: Tyron ATR は、ハンヴィーと陸上機動車において一定の性能基準 (30mph (48km/時) で 30 マイル (48km)) を満たした。更に Tyron ATR は業界基準となる 50mph (80km/時) と 60mph (96km/時) の速度も満たした。タイヤを取り外してすぐに、機械工がランフラットの状態を調査したが、明らかなダメージはなかった。ランフラットは、特殊な道具を使わずに簡単に分解・組立が出来た。ランフラットは、再利用のために新しいタイヤに取り付けられた。

ハンヴィー用 16.5 インチ ATR ランフラットの弾道試験

最初の試験は、Finabel 基準を実施。タイヤは装着せず、銃弾 5 発をランフラットの側面に、2 発をトレッド部分に 50m 離れたところから発射。銃は AK47 と M16、銃弾は 7.62mm と 5.56mm のものを使用。

銃弾 1 発をボルトの頭に直接あたるようにしたところ跳ね返り、もう 1 発はワッシャー (座金) にあてたところ、そこに留まった。残りの 3 発は単

にゴムの部分を貫通した。ボルト周辺のトレッド部分の 2 発はそこに留まっていた。どの銃弾もランフラット・システムには全く影響を与えなかった。

同じ試験を 25m 地点で実施したところ、同じ結果になった。ランフラットに合計 35 発を撃ったが、影響はなかった。

結論

タイヤを保護するものがない状態で、合計 35 発の銃弾がランフラットのボルトとその周辺に撃たれたが、全てそこに留まった。これにより、銃による激しい攻撃をボルト部分に繰り返し受けても、Tyron ATR は問題ないことが実証された。



強力自動小銃



ボルトへのダメージを最小限に抑える



衝撃は、構造的なダメージを負うことなく吸収される